

十種ヶ峰で雪山を満喫し隊

長門「夢・つなぎ塾」では、今年度最後の活動として1月5日（日）6日（月）の2日間、「十種ヶ峰で雪山を満喫し隊」を実施しました。小学生15名、中学生1名、実行委員7名、計23名が参加し、歩くスキーや、野外炊事や他校の友達とのふれあいなど様々な体験活動を行いました。そこで、各種活動から子どもたちが感じ、考え、学んだことを当日の様子とともにまとめました。また、今回は山口大学教育学部4年の佐藤さん、十種ヶ峰青少年自然の家の職員のみなさんにもご協力いただきました。



Q. 1 活動に参加して、一番印象に残ったことは何ですか？

○歩くスキー

- ・初めてのスキーの活動を行ってみて、いろいろな人たちと分からないことがあると分かち合い、長門市ではできない活動をすることができたのでとても良かった。
- ・自分では、たくさんの上達の達成感を知ることができました。またやってみたいと思いました。
- ・初めてだったし、難しいと思って、チャレンジしようという気持ちがわきませんでした。だけど、チャレンジして「上手」と言ってもらえたし、楽しく滑ることができました。

ちょっと緊張！？みんなの前での自己紹介

- ・最初は難しくてこわかったけど、できるようになったのがうれしかった。
- ・自分自身が一番楽しめたし、周りをよく見て困っている人を助けることができました。
- ・去年はできなかったけれど、今年できて良かった。みんなですべったり、アドバイスをしたりして、1日目も2日目もすごく楽しかったです。
- ・スキーの活動で、たくさんすべったり雪だるまを作ったりしたことが、とても楽しかったです。
- ・日頃、スキーはなかなかできないので、できて良かったです。
- ・転ぶとダメージが大きかったけれど、すべると楽しかったし達成感を得られることが分かった。
- ・スキーを全然やったことがなくて、最初はすぐこけていたけれど、いっぱい練習して、うまくすべられるようになった。とても楽しかった。
- ・初めてのスキーだったから、どうすればうまくできるのが難しくて何回も転んだけれど、ちょっとはできるようになったので良かったです。



念願の雪！歩くスキーにチャレンジ！！

○野外炊事

- ・テーブルを雪で作る活動が、私は一番心に残りました。

Q. 2 活動を通して、自分が一番成長したところはどこですか？



ぱくさん考案の楽しいレクをしたよ！

- ・みんなと協力して、時間を見て活動することができたことが、一番成長したところだと思います。
- ・スキーで滑ることができるようになったことです。まだ曲がることはできないけれど、まっすぐには滑ることができるようになったので一番成長したなと思いました。
- ・コミュニケーション能力が、身に着いたと思います。知らない人と話せなかったのが、初めて会った人と仲良くなれたし、いろいろな人と、話すことができるようになりました。

- ・ただ、何も考えずに楽しむだけではなくて、別のことにも楽しみを関連させることができるようになった。
- ・班長になって、リーダーシップを発揮することができたこと。
- ・自分だけでは難しいところを、班の友達に助けを求めることができました。
- ・チャレンジ精神。進んで、いろいろなことにチャレンジできました。
- ・周りをよく見て、1人だけで考えるのではなくみんなで考えることができた。
- ・周りを意識しながら行動することができました。また、時間も意識することができました。
- ・班長として、周りの人に自分から積極的に話しかけたり、仲をよく深めたりすることができました。みんなをまとめるのには、まだ難しかったけれど、よい経験になったなと思いました。
- ・時間を守ることができるようになった。

Q. 3 活動から感じたこと・学んだこと・発見したことを次の3点から聞きました！



2日目に向けての作戦会議！！

十種ヶ峰での活動全般を振り返って

- ・スキーができるようになったので良かった。
- ・こういう体験活動をする中で、初めて班長になったのですが、みんなをまとめて班長の姿を示すことがあまりできませんでした。また班長をする時は、そういう行動ができるようになりたいです。
- ・初めは、友達と過ごすことによって周りに流されると思っていましたが、自分の役割を意識して、流されずに過ごすことができました。

- ・みんなが私を頼ってくれてうれしかったし、「班長だから」と1人で頑張るのではなく、みんなで頑張ることが大切だということが分かった。
- ・班のみんなとも仲良くなれたし、係の仕事も協力してすることができた。野外炊事でもみんなで協力して、鶏鍋を作ることができたので良かったです。
- ・班のみんなに、声掛けをすることができました。
- ・スキーをしたり、雪の机やいすを使って食事をしたりすることはなかなかないので、よい経験となった。
- ・班長に頼るのではなく、自分も周りを見て困っている人のサポートをしていくことが大切だということが分かりました。

- ・係の仕事を、協力して分担し力を合わせてできたので、協力することが大切だと思いました。
- ・食事係の仕事が、私には向いてないように感じた。
- ・しっかり周りを見ることができ、係の仕事をきっちりやることができた。

十種ヶ峰の自然とのふれあいを通して

- ・長門では、味わえない景色がたくさんあった。
- ・自然って楽しいんだけど疲れるから、エネルギーチャージをしながら思い切り遊びたい！
- ・日置はあまり雪が降らないので、十種ヶ峰の雪がいっぱい降っているからびっくりしました。
- ・十種ヶ峰の自然はとてもきれいで、自然のままだと思った。このすてきな景色を、ずっと守っていきたいと感じた。
- ・山口県には、まだ知らないこんなにいい自然があるんだと知りました。
- ・十種ヶ峰には、たくさんの自然豊かなところがあると初めて知りました。
- ・長門はあまり雪が降っていなかったけれど、雪が積もっていてすごかった。そして、木もたくさんあってスキーもできて良かった。
- ・「自然って美しい」と、改めて思いました。
- ・知らなかった植物（山桜、ひのき、杉など）をやまさんに教えていただき、知識が増えてうれしいです。
- ・自然とのふれあいでは、移動するときに雨が降って風が吹いて、草木がゆれていてとても楽しかったし気持ち良かったです。
- ・雪は、机にもイスにもなると知った。



雪を求めてノルディックウォーキング！

他校の友達やいろいろな方との出会いやふれあいを通して

- ・ほとんどの人と、仲良くなれたので良かった。
- ・他校の友達と、仲良くできました。大学生とも、名前を覚えて仲良くできました。職員の人たちとは、急にダジャレを言われてすぐに理解することができませんでした。しかし、笑わせてくれてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・今まであった事がない方もいらっしゃったけれど、大学生や大人の方がやさしく話してくれて仲良くなれました。
- ・最初は不安だったけれど、「好きな物が同じ」という共通点を見つけられ仲良くなれました。自分の学校とは違うことだらけでびっくりしました。
- ・初めは、なかなか話すことがなかったけれど、パクさんのレクリエーションなどで仲を深めることができました。野外炊事も、班のみんなと協力できて良かった。
- ・スキーの滑り方を教わって、うれしかった。
- ・新しい友達ができたので、うれしかったです。
- ・いろいろな人と関わることで、コミュニケーション力が身に付いた。
- ・仲良くなった人もいるけれど、あまり話せなかった人もいますので、次参加するときには、いろいろな人と仲良くなりたいです。
- ・みんなと活動できて、楽しかった。



みんなで食べるとおいしいね！！

・最初は、仲の良い知っている友達の方にしか行かなかったけれど、だんだんと知らない人とも話すことができた。

Q. 4 今回の経験から、今後の学校生活や家庭生活につなげて(活かして)いくことを書いてみよう！



チャレンジすることで成長を実感！！

- ・時間をしっかりと守るようになる！！
- ・今回の経験を生かして、学校生活では「みんなをまとめる」「小さな子をお世話する」など、6年生としての行動を下学年のお手本として頑張っていきたいと思いました。家庭ではお手伝いをして、何事にも挑戦できるように頑張りたいです。
- ・自分で使ったものは自分で片付け、自分の役割を果たし、相手が困らないようにします。
- ・周りを見て動くことと、リーダーになったときに1人だけで頑張らずに、みんなで頑張るということを心掛けたいです。

- ・これからも、進んでチャレンジしたり、知らない学校の人たちにも進んでしゃべりかけたりしたいです。
- ・学校での勉強も頑張ります！！
- ・今までは、手を挙げたり積極的にチャレンジしたりしていなかったけれど、今回班長をした経験を生かして、積極的に活動していきたいです。
- ・人に頼るだけではなく、自分も周りを見て動きたいと思った。
- ・学校で協力してできるように、みんなに声をかけ力を合わせて仲良く頑張っていきたいです。
- ・早起きを頑張ります！！
- ・私は、今回知らない人に声をかけられてチャレンジをたくさんすることができたので、中学校に行って違う学校の人にも声をかけられる人になりたいと思います。

～思い出のシーン～



アイスブレイクでみんな笑顔！



キャンプネームで自己紹介！



みんなで目標と役割決め！



ピッタリのスキー靴はどれかな？



自分のスキー用具をゲット！！



スキー靴をはいて着脱練習！



イメージトレーニング！！



曲がるときはこうやって・・・



こけてから足をあげて起きる！



雪を求めていざ出発！！



念願の雪上歩くスキー！！



た～のし～(^^♪



コツをつかんできたぞ！！



こけてもこの笑顔！！



スキーの合間に焚火！！



ちくわとウインナーの串焼！



自然の中で長門の食を満喫！



みんなで食べるとおいしいね！



雪だるまも作ったよ！



雪中ランタン作成中！！



芸術点高めの作品がぞくぞくと！



火を灯すと別世界でした！



ばくさんのレクで仲が深まります



人間知恵の輪、抜けな〜い！



こうやったらいいんじゃない？



こんなになりましたけど・・・



楽しかったね！



誰が何を背負って行くか相談中



1日目を振り返って



2日目も元気よくスタート！！



十種ヶ峰の自然を満喫しながら



もうすぐ雪があるぞー！！



到着するなり早速スキー！！



滑る姿も様になってきました！



昨日よりイイ感じ！！



何回もチャレンジ！！



雪で机といすを作成中！



だんだん形になっていきます！



鶏鍋あったまる～



おいしくな～れとかき混ぜます



おいし～(^^♪



大自然の中で！！



2日間を振り返って自分との対話



自分の成長を発表！！



充実した時間でした！！



十種ヶ峰での思い出、最高！！

山口大学教育学部生

令和6年度 ～「十種ヶ峰で雪山を満喫し隊」を終えて～

《山口大学教育学部 4年 佐藤 誠司（ぱくさん）》

今回の長門「夢・つなぎ塾」は、前回参加させていただいた時よりもすぐに、長門の小・中学生と打ち解けることができました。歩くスキーは想像していた以上に難しく、慣れるまでに時間がかかりましたが、たくさんのアドバイスのおかげで2日目には恥ずかしくない程度に滑ることができました。1日目の夜にはレクリエーションを行わせていただき、人間知恵の輪をしたり班全員で1本のペンを持ってのお絵かきをしたりしました。盛り上がるのか不安でドキドキしていましたが、みなさんの楽しむ姿が見られたのでレクリエーションの時間をいただけて良かったと思いました。今回は大学生の参加が少なかったため、私が毎回楽しませていただいていることを広めていきたいと思います。毎回、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

長門「夢・つなぎ塾」実行委員

令和6年度 ～「十種ヶ峰で雪山を満喫し隊」を終えて～

《十種ヶ峰青少年自然の家 指導員（実行委員長） 山下 茂生（やまさん）》

十種ヶ峰の自然は、長門の子どもたちが来るのを待っていてくれたのでしょう。年末に降った雪を残しておいてくれました。おかげで、2日間とも予定していたプログラムの歩くスキーや雪遊び、雪中デイキャンプを実施することができました。

1日目は、キャンプ場の平地とスロープを使って歩くスキーで基本的な動きや滑り方を練習しました。初めてスキーをする子もいましたが、1時間も練習すると緩やかな斜面を転ばずに滑って降りられるようになりました。雪が少なく限られた狭いスペースではありましたが、譲り合って楽しく滑ることができました。

2日目は、予定していたツアーの目的地の方丈原が雪不足だったので、場所を十種ヶ峰中腹のグレンデに変更して実施しました。野外炊事の用具や食材を分担してザックに詰め、雪を求めて歩いて登りました。約1時間で雪の残っているグレンデに到着し、そこで歩くスキーを楽しみました。少ない雪でしたが、昨日より長い距離を滑ることができました。また、そり滑りや雪合戦、雪像作りなども楽しむことができました。十分とは言えませんでした。雪にふれあうことは十分にできました。朝のうちに降っていた雨も上がり晴れ間も見えるようになったので、グレンデの隅で野外炊事をすることにしました。グループごとに協力して、雪を集めて工夫してテーブルや座る所を作りました。メニューは、長門名産の長州鶏を使った鍋料理を作りました。雪に囲まれた中で食べる温かい鍋は、身体も心も温まりました。鍋の締めは雑炊にしておいしくいただきました。1泊2日で、子どもたちは新しい友達ができたり初めてスキーをすることができたりと、それぞれにとっての新しいチャレンジをすることができました。雪は少なかったけれど、子どもたちは雪山を十分に満喫することができたと思います。

《長門市立深川小学校 教諭 山村 千恵（ぱっちゃん）》

今年は、例年より一ヶ月ほど早い開催だったので、少しではありますがグレンデに雪が残っており、子どもたちはスキーを楽しむことができました。少しとは言うものの、白い雪の中に立つと自然の中に体ひとつポツンと置かれたような気がして、何となく心細く感じます。「寒い」と

言たって、「冷たい」と言たって、転んで「痛い！起きられない！」と言たって自然は沈黙しています。自分の力で、何とか切り抜けなければなりません。もちろん仲間の助けや協力はあるのですが、切り抜けるのは自分の力が頼りです。だからこそ、この2日間の子どもたちの成長が著しいのだと、毎回感じています。文明の利器（デジタル等）から離れ、自然の中で過ごすことで、人間が本来もっている力が目覚めていくような感覚がします。雪で作ったテーブルと椅子で野外炊事をし、あったかい雑炊を食べる。雪で作ったランタンにキャンドルを灯す。寝袋に入って雑魚寝をする。それを仲間と一緒に満喫する……。本当に素敵なギフトのような体験でした。2日間を共にしたみなさん、ありがとうございました。

《長門市立向陽小学校 教諭 田中 翔大（ゆずきち）》

今年は何といっても雪に恵まれ、久しぶりに雪を満喫できた2日間でした。

初めこそお互いのこともまだ知らず緊張していた子どもたちですが、十種ヶ峰の自然や雪、野外活動を通して、あっという間に互いに名前を呼び合ったり、協力して活動したりする姿が見られました。最後の振り返りでは、「楽しかった！」「仲良くなれた！」だけではなく、「みんなと協力できた！」「難しいと思ったことにチャレンジできた！」という振り返りもあり、この活動を通して子どもたちも自身の成長を感じることができたようです。この2日間で成長できたこと、身に付けたことをそれぞれの学校でも活かして、次学年での活躍につなげてくれることを願っています。

《油谷青少年自然の家 指導員 鶴田 隆通（ジムにい）》

「十種ヶ峰で雪山を満喫し隊」に、参加させていただきました。例年より時期を前倒しにし、雪を求めていざ参ったものの、スキー場は薄化粧にもいならず、残念な気持ちでいました。それでも、日陰で雪の残るグレンデに移動すれば、白化粧の斜面が広がっていました。スキー板を足に装着し、四苦八苦しながら雪の上を歩き、へっぴり腰になりながら斜面を滑ってはこける子どもたち。恐怖と向き合いながら、それでも楽しそうに夢中になって滑る様子が見られてほっとしました。雪のキャンドルナイトは、思い思いにミニかまくらや雪玉をアレンジして、雪遊びを満喫したのではないのでしょうか。

2日目には、いよいよ山の上のグレンデまで上がり、雪山での野外炊事を行いました。グレンデ一面の雪には歓喜の声が上がり、1日目以上にすきーも思いっきり遊べたと思います。野外炊事の椅子やテーブルは雪で作し、その上で調理。作った鍋の味を将来覚えてくれれば、うれしい限りです。西日本では雪にふれる機会が減少し、雪山という非日常を味わうことが少なくなりました。この経験と記憶を、大切にしてもらえたらと思います。

《長門市立深川小学校 教諭 山田 祐輔（やまびー）》

今回、初めて長門「夢・つなぎ塾」に参加させていただき、とてもよい経験となりました。初めての歩くスキー体験では、子どもたちと一緒に練習しながら少しずつ滑ることができるようになってきました。1日目は、上手に滑ることができなかった子もコツをつかみ、2日目にはとても上手に滑ることができていました。また、グループで意見を出し合いながら活動する場面も多くあり、リーダーを中心に出てきた課題を仲良くクリアしていくところがとても印象的でした。次回もぜひ、参加させていただきたいです。

《長門市教育委員会 地域連携教育推進課 主査 吉永 勝洋（よっしー）》

初日の夜明け前、集合場所で待っている保護者や参加者からは「雪があるかないか」の論議が飛

び交っており、参加者がいかに雪遊びを楽しみにしているのか、この時点で分かりました。今年初めて参加しましたが、雪景色を見て目を輝かせながら歩くスキーに挑戦している子どもたちの顔を見ていると、自然とふれあうことの大切さを改めて感じました。

様々な活動の中で、参加者の成長をはっきりと見ることができ、私自身もよい経験になりました。参加した子どもたちには、今回の経験を大切にして、学校生活や日常生活でより一層活躍してほしいと思います。

《長門市教育委員会 地域連携教育推進課 社会教育主事 藤本 悠司（ゆうちゃみ）》

期待していた量とはいきませんでした。やっと雪に出会えました。長門市を出発した時には雪が全くなく子どもたちもあきらめムードが漂っていましたが、十種ヶ峰に到着すると歓声があがりました。子どもたちは、初めの自己紹介から大きな声で堂々とした姿で臨んでおり、その後の班ミーティングや各活動においても、とても積極的に取り組んでいる姿が随所で見受けられました。積極的に取り組んだことが、それぞれの成長につながったと実感しました。特に、これまでの長門「夢・つなぎ塾」に参加したことがある子どもたちは、事業ごとに成長の跡が感じられました。初めは「自分が一番」だったのに、班の仲間を励ましたり支えたりすることができるようになりました。みんなの前で自己紹介すらできなかったのに、自信をもって堂々と発言することができるようになりました。勇気をもって一歩踏み出すことができず、未経験のことに対してなかなかチャレンジできなかったのに、仲間と励まし合いながら一歩を踏み出すことができました。

これほどの成長を感じられたのも、目をキラキラさせながら「本物の体験」をした子ども達とそれを支える実行委員や山口大学の佐藤さん、そして何より、宮本所長をはじめとした山口県十種ヶ峰青少年自然の家のみなさんのおかげだと感じています。本当にありがとうございました。

令和6年度の長門「夢・つなぎ塾」の活動も、今回の活動をもって無事終わることができました。今年度の活動を、来年度の活動へつなげ、さらに発展していきたいと考えています。来年度も長門の子どもたちの健やかな成長のため、様々な活動を計画しておりますので、来年度の活動への積極的な御参加を、心よりお待ちしております。最後になりましたが、今年度の活動に御尽力いただきました全てのみなさんに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。